

# 短期語学留学しやすく

## フィリピンへ来年度から

### 八学大、八学光星が新制度

八戸

国際社会で活躍できる人材を育成しようと、八戸学院大学と八戸学院光星高校は来年度から、学生・生徒がフィリピンの語学学校「CNE1」に短期留学しやすくする制度を始める。同大学の大谷真樹学長と同高校の小野崎龍一校長が19日、同高校で発表した。

(新村菜穂)



フィリピンの語学学校で一对一の英会話レッスンを体験する大谷学長(右) (八戸学院大学提供)

CNE1は英語を公用語とするフィリピンのタラック州にある語学学校で、一对一の英会話レッスンなどを提供している。学生がCNE1に留学した場合、同大学は単位を認定するほか、通常より費用を抑え、

学生が留学しやすい環境を整える。期間は2週間を見込む。また、高大連携事業の一環として、同高校生徒もCNE1への留学制度を利用できるようにする。

大谷学長らは13~17日、フィリピンに出向きCNE1の英会話レッスンを体験した。大谷学長は「留学を通じて自分に合ったレベルの語学研修に集中的に取り組める。国際教養のある人材育成を強みに、私学として差別化を図っていききたい」と話した。

2校を運営する学校法人光星学院は年内にも、CNE1と包括協定を締結する方針。将来的には系列幼稚園の園児と保護者が留学できる仕組みの導入や、シニア世代が生涯学習として留学する地域貢献事業も視野に入れている。